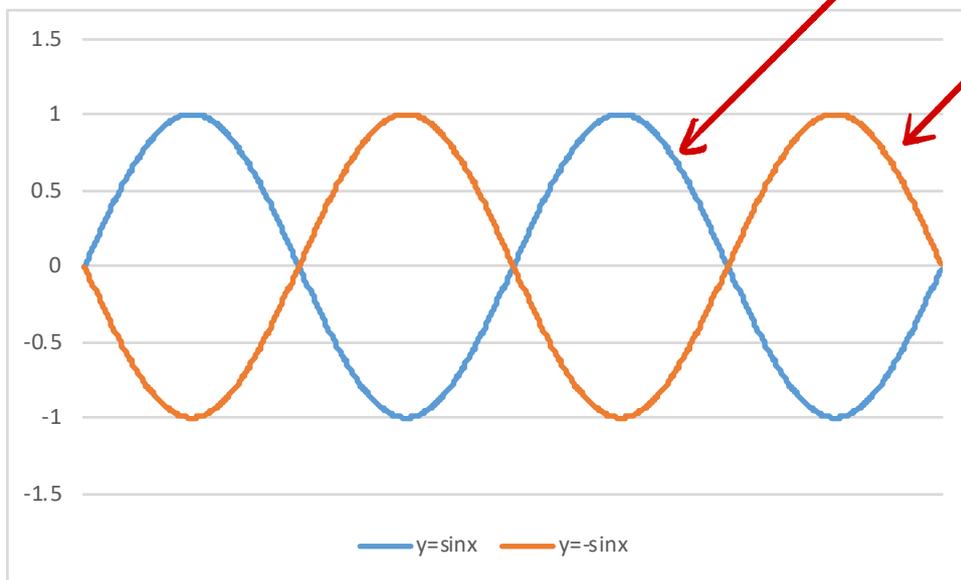


NEWSLETTER

No111919

イヤホンやヘッドホンで音楽を聴いている方はノイズキャンセレーション(“noise cancellation”)というをご存知だと思います。ノイズキャンセレーションとは騒音の抑制を行う仕組みのことです。外部で発生している騒音をイヤホンやヘッドホンに取り付けられたマイクが拾い上げ逆の音波をヘッドホン内に再生することで、外の騒音を低減させる仕組みです。

物理学の知識のある方は音が波であることをご存知だと思います。通常**の波(位相)**を**逆の波(逆位相)**で打ち消すことができます。それを表しているのが下図です。



ナンバーオペレーションの事業リスクをどうやって軽減するかについての技術的な方法の一つが“ノイズキャンセレーション”の仕組みとイメージが重なります。

ナンバーオペレーションの“シーケンシャル”が、いわば、“ノイズキャンセレーション”になっています。

前号(no111819)に以下のテーブルを掲げました。

“P+1/P-1 (x)”を私のグループのスタッフの間では「**X軸のハンド**」呼んでいます。

「X軸」とは横軸を意味します。それによって**ハンド**の性格が分かります。

X軸のハンドをテーブルにインプットし**シーケンシャル**を作ってみましょう。

連続性のあるハンドで
時間軸(=X軸)を利用している

